

harman / kardon<sup>®</sup>  
by HARMAN

## ESQUIRE MINI 2

### 取扱説明書

#### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止(してはいけないこと)を示す記号です。

分解してはいけないことを示す記号です。

濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

触れてはいけないことを示す記号です。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。

AC電源アダプタをコンセントから抜いていた

ことを示す記号です。

#### 警告

**!** AC電源アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、AC電源アダプタを容易に引き抜くためです。

付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。

付属品のAC電源アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない。火災の原因になります。

電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。

電源コードを曲げたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

電源コードが破損した場合(芯線の露出や断線など)には、販売店または弊社サービスセンターに交換(有償)を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。

テーブルタップ(延長コード)を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、AC電源アダプタには触れない。感電の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

煙が出る場合、異常なおびや音が出る場合は、すぐにAC電源アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。

**!** 本機の内部に水などが入った場合は、AC電源アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC電源アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしない。感電の原因になります。

調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。

直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)に設置しない。キャビネットや内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。

**!** オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

#### 注意

濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。

長期間本機を使用しないときは、AC電源アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。

AC電源アダプタを抜くときは、電源コードを引っぱらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

**!** AC電源アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC電源アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

薬物厳禁。ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

#### 電池についてのご注意

**!** 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入った

りたり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

● 液が漏れたとき  
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

● 液が目に入ったとき  
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

● 液が体や衣服についたとき  
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

**!** 電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

● 火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。

● 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。

● 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

● 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。

● 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

● 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。

● 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

#### Bluetooth<sup>®</sup> に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジやコードレス電話など)で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

・2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)

・ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)

・テレビにノイズが出た場合、本機(および本機対応製品)がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

#### 注意

・本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

・本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。

・弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

**安全にお使いいただくために**

・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

・航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

**ご注意ください電子機器の例**

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。

**電波法に基づく認証について**

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

・本機を分解/改造すること。

・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

**周波数について**

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

#### 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

USBケーブル(USB Type-C ↔ USB)

ポーチ

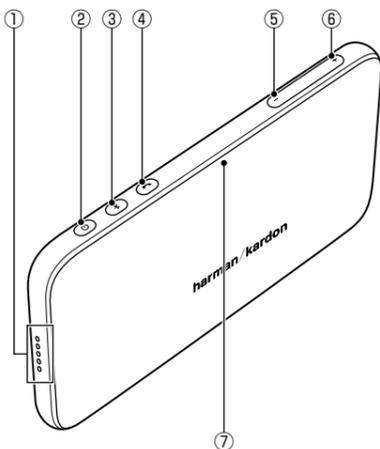
日本語取扱説明書(本紙)

多言語取扱説明書

保証書(日本国内用)

#### 各部の名称

##### ▶ 前面 / 上面 / 左側面



① バッテリーインジケーター

② 電源ボタン(⏻)

③ Bluetoothボタン(📶)

④ ハンズフリーボタン(📞)

⑤ 音量-ボタン

⑥ 音量+ボタン

⑦ ステータスインジケーター

##### ▶ 右側面

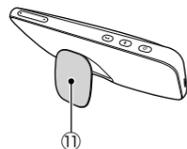


⑧ オーディオ入力端子

⑨ USB端子(電力供給用)

⑩ USB Type-C端子(本機充電用)

##### ▶ 裏面



⑪ スタンド

#### 充電する

付属のUSBケーブルを使って充電します。

充電時間は約3時間\*です。

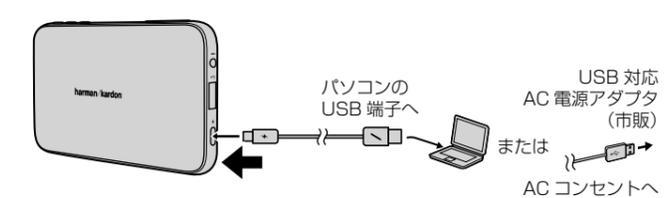
\* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

① 本機のUSB Type-C端子にUSBケーブルを接続する。

② USBケーブルを、お手持ちのパソコンのUSB端子に接続する。

または、市販のUSB対応AC電源アダプタを使用して、コンセントに接続します。

AC電源アダプタは、5V 1A以下の市販品をお使いください。



充電中は、バッテリーインジケーターがひとつずつ点灯していきます。

・本機とパソコンをUSBケーブルで接続しても、パソコンに保存された楽曲を本機で聞くことはできません。

すべてのバッテリーインジケーターが点灯したら充電完了です。

#### 電池残量について

本機のバッテリーインジケーターで、電池残量の目安を確認できます。ご使用中、電池の消費にともないインジケーターがひとつずつ消灯していきます。目安として、インジケーターの点灯がひとつになったら充電してください。

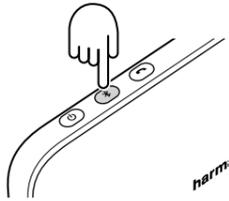
## Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源ボタン (🔌) を押し、本機の電源を入れる。  
電子音が鳴ります。お買い上げ後初めて電源を入れたときは、ステータスインジケータがゆっくり点滅します。
- ② Bluetooth ボタン (📶) を押す。



- 電子音が鳴り、ステータスインジケータが速く点滅して、ペアリング設定状態になります。
- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
ペアリングが完了すると、電子音が鳴り、ステータスインジケータが点灯します。

### iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「HK Esquire Mini 2」を選択する。  
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



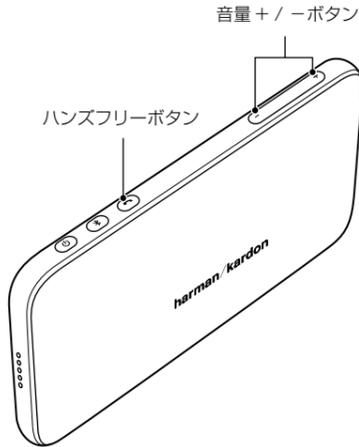
### その他のデバイス（携帯電話・スマートホンなど）の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。  
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。  
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」、音楽再生のやりたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。  
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。ステータスインジケータが点灯すると、ペアリングは完了です。
  - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
  - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

### ▶ 基本操作

本機上面のボタンで以下のコントロールを行うことができます。



#### 音量+ボタン / 音量-ボタン

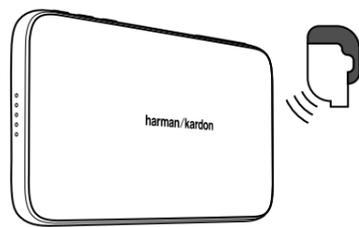
押して音量を調節します。  
ハンズフリー通話中に+ボタンと-ボタンを同時に押すと、音声はミュート（消音）します。こちらからの音声は相手に聞こえなくなります。  
ミュートを解除するには、+ボタンまたは-ボタンを押します。  
• ミュート中は、ステータスインジケータが赤く点灯します。

#### ハンズフリーボタン（再生制御）

押すごとに再生 / 一時停止します。  
2 回続けて押すと、次の曲の先頭にスキップします。

#### ハンズフリーボタン（ハンズフリー通話）

携帯電話・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、本機を使ってハンズフリー通話ができます。



着信中に 1 回押すと電話を受けます。押し続けると着信拒否します。通話中に 1 回押すと電話を切ります。

### ▶ Bluetooth 接続を解除するには

デバイスの Bluetooth を「OFF」にします。

### ▶ 本機の電源を切る

電源ボタン (🔌) を押します。  
電子音が鳴り、電源がオフになります。

#### 自動スタンバイモードについて

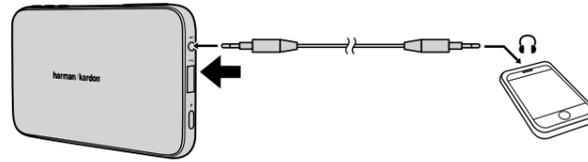
本機の電源がオンのとき、約 30 分以上音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモードになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、自動スタンバイモードをオフにすることはできません。

## その他の機器を接続する

### ▶ その他のオーディオ機器の音楽を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグつきオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。

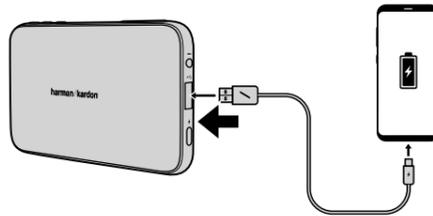
- ① 3.5mm ステレオミニプラグつきケーブル(市販)を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子を本機のオーディオ入力端子に接続する。
- ② オーディオ機器または PC で音声を再生する。



## 他のデバイスを充電する

本機は、他のデバイスへの給電用の USB 端子を装備しています。携帯電話・スマートホンやタブレットの充電用としてお使いください。

※ 接続には、充電したいデバイスに付属の充電用ケーブル (USB ケーブル) をお使いください。



## トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。 オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

## 主な仕様

Bluetooth	Bluetooth4.2
伝送距離	Class 2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.5、HFP V1.6
音声入力	Bluetooth × 1、外部音声入力 × 1
最大出力	8W
使用ユニット	44.45mm 径ドライバ × 1
周波数特性	130Hz ~ 20kHz
電池	2,200mAh リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 3 時間
連続再生時間*	約 10 時間
サイズ	幅 140mm × 高さ 75.2mm × 奥行き 26.1mm
質量	250.5g (本体のみ)

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。  
・充電時間は、充電方法によって異なります。  
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

### ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

### ▶ 本機の廃棄について

 本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。  
リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒には廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

#### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

### ▶ HARMAN Owners' Club

この度は Harman Kardon 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話から (フィーチャーホン) はご登録できませんのでご注意ください。

### ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://hk.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Harman/Kardon は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2018 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

XXXXXXXXXX